

平成26年度 公立大学法人熊本県立大学 業務実績報告書 用語解説

用語	解説
アドミッション・ポリシー	入学者受入れ方針
カリキュラム・ポリシー	教育課程編成・実施の方針
ディプロマ・ポリシー	学位授与方針
TA	(Teaching Assistant ティーチング アシスタント) TAは、学部学生等に対するチュータリング(助言)や実験、実習、演習等の教育補助業務(具体的には、演習のディスカッションリーダー、レポート・試験等の採点など)を行い、これに対する手当を支給される大学院学生等を指す。
SA	上記のTAと同様に、教育補助を学士課程の学生に携わらせる場合は、TAと区別として、スチューデント・アシスタント(SA)と称する。
GPA	(Grade Point Averageの略)アメリカの大学で広く採用されている成績評価システム。 授業科目ごとの成績評価に対し、定められたポイントを付与し、1単位当たりの平均を算出し、5点満点で表記したもの。
キャリアデザイン教育	望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育(文部科学省HPより)
学生GP制度	地域企業・地域社会から募集した研究テーマを学生が卒業研究として行う本学の取組。この取組を教育体制に組み込むことで、学生の自律と自立に向けた就業力育成を図ることを目的としている。 GP: Good Practiceの略。「優れた取組」という意味で使われている。
PROGテスト	汎用的技能を測定するための業者テスト
教学IR室	IRとは、「Institutional Research(インスティテューショナル・リサーチ)」の略で、機関の計画策定、政策形成を支援するための情報を提供する目的で、高等教育機関の内部で行われるリサーチのこと。 教学IRは、大学の教育活動の改善を重視したIRのこと。学修成果の評価を通してカリキュラムや各種教育プログラムの質保証や改善支援が期待される。
ルーブリック評価	ルーブリックとは、成功の度合いを示す数値的な尺度(scale)と、それぞれの尺度に見られる認識や行為の特徴を示した記述語(descriptor)からなる評価指標。学習到達状況を評価するための評価基準。

【業務実績報告書附属資料】

用語	解説
ITパスポート試験	独立行政法人情報処理推進機構が実施する情報技術に関する基礎知識を測る国家試験。平成21年4月から実施されている。
アクティブ・ラーニング	教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。問題解決学習、体験学習や、教室内でのグループワーク等の方法がある。
FD	(Faculty Development ファカルティ ディベロップメント) 教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称である。具体的な例としては、新任教員のための研修会の開催、教員相互の授業参観の実施、センター等の設置などを挙げることができる。
SD	(Staff Development スタッフ ディベロップメント) 教員に加え事務職員や技術職員など、教職員全員を対象とした、管理運営や教育研究支援までを含めた資質向上のための組織的な取組を指す。
AO入試	(アドミッション・オフィス入試) 学力検査に偏ることなく、詳細な書類審査と時間をかけた丁寧な面接等を組み合わせることによって、受験生の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を総合的に判定しようとするきめ細かな選抜方法の一つ。
シラバス	授業科目名、担当教員名、講義目的、講義概要、毎回の授業内容、成績評価方法、教科書や参考文献、その他履修する上で必要となる要件について記した授業計画のこと。
TOEIC®	Test of English for International Communication : 英語によるコミュニケーション能力に関するテスト
キャップ制	履修科目登録単位数上限の設定。学生が、授業科目毎の学習時間を十分に確保し、充実した学修が展開できるよう、1年間あるいは1学期間に履修科目として登録できる単位数に上限を設定すること。
チューター制	個別指導制度
科研費 ：科学研究費補助金 (独立行政法人日本学術 振興会)	科研費は、全国の大学や研究機関における研究活動への助成制度。人文・社会科学から自然科学までのすべての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる独創的・先駆的な学術研究(研究者の自由な発想に基づく研究)を対象とする。
学術機関リポジトリ	教育・研究成果の発信手段として大学や研究機関等が作成・提供しているデータベースシステム
包括協定	熊本県立大学と自治体・企業等が、地域における活動や調査・研究、人材育成、産業振興、地域づくり等様々な分野において相互に協力することを目的として締結する協定

【業務実績報告書附属資料】

用語	解説
CPDプログラム	Continuing Professional Development：継続的専門職能開発プログラム
サバティカル制度	研修休暇とも呼ばれる長期休暇で欧米では広く普及している休暇制度。本学においては、出張によらない国内外における長期研修（職務専念義務免除）のこと。
セメスター制	学期のこと。セメスター制は、通年制（一つの授業を1年間通しての実施）の前・後期などとは異なり、一つの授業を学期（セメスター）毎完結させる、1学年複数学期制の授業形態。
熊本県立大学未来基金	熊本県立大学が平成21年9月8日、さらなる教育研究環境の充実を図り、地域に貢献する有為な人材の育成及び優れた研究成果の創出に資することを目的に創設した基金
認証評価	国公立すべての大学が文部科学大臣の認証を受けた評価機関（認証評価機関）によって定期的に評価を受ける制度で、平成16年度から導入された。
ユニバーサルデザイン	「すべての人のためのデザイン」のことであり、年齢、性別、国籍（言語）や障がいの有無等に関係なく、最初からだれもが利用できるような製品、建物や環境のデザインを意味する。また、情報、サービスやコミュニケーションを含む「すべての人が生活しやすい社会のデザイン」といったより広い概念として使われる。

「平成26年度 業務実績報告書」の参考

用語解説

項目番号	用語	解説
8	アドミッション・ポリシー	入学者受入れ方針
	カリキュラム・ポリシー	教育課程編成・実施の方針
	ディプロマ・ポリシー	学位授与方針
9	TA	(Teaching Assistant ティーチング アシスタント) TAは、学部学生等に対するチュータリング(助言)や実験、実習、演習等の教育補助業務(具体的には、演習のディスカッションリーダー、レポート・試験等の採点など)を行い、これに対する手当てを支給される大学院学生等を指す。
12	SA	上記のTAと同様に、教育補助を学士課程の学生に携わらせる場合は、TAと区別として、スチューデント・アシスタント(SA)と称する。
14	学生GP制度	地域企業・地域社会から募集した研究テーマを学生が卒業研究として行う取組。この取組を教育体制に組み込むことで、学生の自律と自律に向けた就業力育成を図る。 GP: Good Practiceの略。「優れた取組」という意味で使われている。
15	ITパスポート試験	独立行政法人情報処理推進機構が実施する情報技術に関する基礎知識を測る国家試験。平成21年4月から実施されている。
16	FD	(Faculty Development ファカルティ ディベロップメント) 教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称である。具体的な例としては、新任教員のための研修会の開催、教員相互の授業参観の実施、センター等の設置などを挙げることができる。
	SD	(Staff Development スタッフ ディベロップメント) 教員に加え事務職員や技術職員など、教職員全員を対象とした、管理運営や教育研究支援までを含めた資質向上のための組織的な取組を指す。
18	AO入試	(アドミッション・オフィス入試) 学力検査に偏ることなく、詳細な書類審査と時間をかけた丁寧な面接等を組み合わせることによって、受験生の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を総合的に判定しようとするきめ細かな選抜方法の一つ。
20	シラバス	授業科目名、担当教員名、講義目的、講義概要、毎回の授業内容、成績評価方法、教科書や参考文献、その他履修する上で必要となる要件について記した授業計画のこと。
23	キャップ制	履修科目登録単位数上限の設定。学生が、授業科目毎の学習時間を十分に確保し、充実した学修が展開できるよう、1年間あるいは1学期間に履修科目として登録できる単位数に上限を設定すること。
32	学術機関リポジトリ	教育・研究成果の発信手段として大学や研究機関等が作成・提供しているデータベースシステム
35	CPDプログラム	(Continuing Professional Development) 継続的専門職能開発プログラム
38	サバティカル制度	研修休暇とも呼ばれる長期休暇で欧米では広く普及している休暇制度。一般には、ある一定期間勤務した従業員や高い成果等を上げた従業員を対象に、更なる専門性を極めてもらうため長期休暇を与え自己啓発、あるいは創造的な休養、リフレッシュを図ってもらう制度。